

守山警察署協議会議事録

開催日時	令和3年7月1日(木) 午後3時～午後5時	
開催場所	守山警察署4階大会議室	
出席者	委員	清水佐代子委員、立入孝次委員、三和郁子委員、廣實照美委員 松永真平委員、劉穎委員、三村益夫委員、円城得寿委員、葎本勝利委員
	警察	署長、副署長、調査官(警務課長)、会計課長、留置管理課長 生活安全課長、地域課長、刑事課長、交通課長、警備課長
議事概要	<p>1 会長、副会長の選任 互選等により会長に清水委員、副会長に立入委員が選任された。</p> <p>2 会長挨拶 協議会活動で何か貢献できたなど後で感じられるように、その時感じたことなどを市民目線で意見し、協議会活動をまとめていきたい。</p> <p>3 副会長挨拶 新会長を補佐し、適正に活動を進めていきたい。</p> <p>4 署長挨拶 委員の皆様から、地域の御意見や御要望をお伺いすることで、適切に警察署の業務運営を進め、安全・安心な地域づくりに努めていくので、今後の御指導をお願いしたい。</p> <p>5 委員及び出席幹部の自己紹介 出席した幹部、各委員が順に自己紹介を行った。</p> <p>6 協議会の概要説明 事務局から協議会の設立経緯、性格、委員の身分等について説明があった。</p> <p>7 議事 (1) 交通事故の発生状況と事故抑止対策について ア 交通事故の発生状況と事故抑止対策等 交通課長から、配付資料等を使用して、県内及び管内の交通事故発生状況、特徴や分析結果、交通事故抑止の3つの柱である「事故多発レッドゾーン対策」「思いやりゾーン」「小さな命を守る交通安全プロジェクト」や通学路対策、当面の課題について説明・報告があった。 イ 委員からの意見・提言等 (委員) 守山市内の外国人に日本の交通ルールを学んでもらう取組をしているが、交通安全に関する資料を見ると、様々な機関が様々な資料を出しており、何が一番重要か捉えづらく感じる。 (警察) 発信するポイントによって様々な資料がある。交通ルールについて外国人の方にわかりやすく基本的なことが記載されている資料は、県警本部が各国語別に発出している冊子と思われる。</p>	

(委員)

警察署からのものや県警本部からのものなど様々な資料が出ていたりするが、これらの活動の根本にあるものは何か。

(警察)

交通安全対策基本法という法律があり、国はこれに基づいて交通安全対策会議を設置し、交通安全対策を進める。県はこれに従って県の交通対策協議会を設置し、知事が責任者となって計画的に交通安全対策を進めることとなっている。

(委員)

ビワイチのコースを走ると、所々で危険に感じる箇所があるが、安全点検は進んでいるのか。

(警察)

断続的ではあるが、現在、県が歩道部分を削って道路を拡幅する工事を進められている。管内では野洲川河口の南側あたりで工事が行われている。

(委員)

ビワイチについては県外者も多いと思われ、事故が起こらないように諸対策を願う。

(委員)

整備は行政の責任であろうから、警察は、行政に事故防止の観点からのアドバイスを願う。

(警察)

事故の情報を一番持っているのは警察であり、警察が事故の発生状況を周知していくことが重要と考えている。県警では、大津市の園児の事故以降、保育園や学校周辺の事故の発生状況を分かりやすく地図で伝える取組をしており、ビワイチコースについても行政や利用者に事故の発生状況を地図等で伝えることができればよいと思う。

昨年県警のホームページで事故の発生位置図を公表しており、事故防止に活用していただきたい。

(委員)

例えば、都市計画法の地区計画も交通に影響があり、守山市内は住宅地として開発が進んでいるところが多いが、住宅地の安全対策について、どの様に考えているのか。

(警察)

昨年は、守山市の住宅地内における死亡事故も発生しており、住宅地の安全対策は重要である。警察だけでは全てを細かく見ていくことは難しいので、市と連携して住民や市からの要望に対応するように考えている。

(委員)

千葉県で下校途中の小学生が被害に遭う大きな事故があった。

飲酒運転との報道がなされているところであり、飲んだら乗るなの徹底は勿論であるが、通学路におけるこのような事故は何処でも起こりうる可能性があると考える。

対策はどの様に進めていくべきか。

(警察)

警察は、啓発や取締りなどの飲酒運転防止対策をはじめとする各種対策を行っているが、飲酒運転の取締り等の検挙活動は警察にしかできない活動であるので推進していきたい。

(委員)

通学路となっている小学校前の道路に、多くの車両が県道の渋滞回避に進入してくるところがある。

駐在所勤務の警察官の方が、警らをよくしてくれており助かっているが、その中でも時間帯の進入禁止を呼びかける看板を設置していただき、相当な効果があった。

大津市の園児の事故を受けてガードレールの設置の点検がなされたが、こういうこと以外にも、ちょっとしたことでもやれる範囲のことを進めることが大切と感じる。

(委員)

可搬式オービスは、危険なドライバーから交通弱者を守ることに効果があるようだが、台数に限りがあるという。ただ、取締りの効果が高いことで、取締りのみの対策とならないように配慮を願う。

(委員)

千葉県の小学生の事故では、近隣のPTAの会長が以前に事故防止対策を要望していたとコメントしていた。様々な要望があろうが、要望を洗い直していただいて子供や高齢者の事故防止に役立てていただきたい。

(2) 今後の開催日程について

次回(第2回)協議会は、9月10日に開催することとした。